

事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和 3年 2月 12日

事業所名 福祉施設ひよっこり島

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|-------------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | | 利用者に配慮しながら設備の拡張を行っている。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | | | ○ | 毎日のミーティングで改善について話し合い振り返りが行われている。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | アンケート調査を行いこれからの活動に取り入れる。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | ホームページで公開しています。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | ○ | | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 研修会に積極的に参加している。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 定期的なモニタリングを通してニーズを聞き取り、成長と発達に応じた計画を作成している。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | | | ○ | 今後検討していきます。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | 毎日のミーティングで情報を共有しながら計画を立てている。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 季節やイベントの活動を取り入れ、児童のニーズを確認しながら考えている。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 毎日のミーティングで課題や活動について話し合い設定しているが、今後は細やかな設定支援が課題である。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 個々のニーズに合わせて計画を作成している。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 活動前にミーティングを行い、情報共有と役割分担を確認している。 |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | 実施できない日は翌朝ミーティング時に、前日の活動内容を振り返り、気づいた点などを情報を共有している。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 毎日、実績記録に支援内容を書いている。 |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 6か月ごとにモニタリングをし計画の見直しを行っている。必要に応じて、細かい計画の変更も行うようにしている。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか | | ○ | | 今後も職員間でミーティングを行い、ガイドラインに沿った計画がなされているか確認していく必要がある。 |
| | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○ | | | 学校との下校時刻の確認等、情報共有が行われている。送迎時は電話連絡での対応ができています。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | ○ | | | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | ○ | |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 連絡ノートや送迎時に日々の様子を保護者と伝え合うようにしています。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | | ○ | |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 契約時に書面と説明を行い、不明な点等あれば随時お伝えしている。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 相談があれば可能な限り助言や支援を行っている。 |

| | | | | | | |
|------------|----|---|---|--|---|---|
| 保護者への説明責任等 | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | ○ | 保護者会は現在開催していません。必要性があれば検討させていただきます。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 速やかに対応するよう努めている。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | | | ○ | 行事予定を配布し、イベント時など子供達の活動の様子が良く分かるよう、写真の配布等をしています。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | 今後も情報の管理を徹底していきます。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | 児童や保護者を含め、口頭に限らずわかりやすい方法を工夫するようにしている。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | 今後機会があれば検討していきます。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | | | ○ | 職員に対して周知しているが、保護者への周知が不十分なので、今後実施していきたい。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 避難訓練を年2回実施している。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | 定期的に会議を行い議題に入れて話し合いをしている。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | | ○ | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | 報告書を作成し、職員間で共有し、事業所内でも周知し再発を防止している。 |